

令和6年度 高山南商工会 経営発達支援計画評価委員会評価表

評価項目	評価委員の意見 改善点などの指摘事項	各委員の評価									総合 評価	自己評価（令和6年度の取組み状況）	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		成果・課題等	評価
①地域の経済動向に関すること	地域経済動向調査レポートで有意義な情報提供が行われている。この先少子高齢化になるため10年先の経済がどのようになるか動向を知りたい。実績が計画通り達成できている。引き続き経済動向の情報提供をお願いします。3年連続年4回（R4～R6）の地域経済動向調査を評価。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	・達成することができた。 全国連委託事業で製造業3者・建設業2者・小売業4者・サービス業6者を対象に景況調査を年4回実施し地域産業の状況や経済動向等について報告書を提出。地域経済動向調査レポートを年4回発行。周知方法は当会HP掲載と巡回や郵送による配布。	A
	事業者数拡大に向けて取り組んでいただきたい。内容があまりわからない。調査対象者が1者となり計画通り達成できなかった。各事業者、地域の中で強みを見つけ出し、その辺りから広げていけると具体的に進めていけるのでは？市場のニーズは興味があるので更なる情報提供に期待します。調査対象事業者が1者と少ない。 支援事業者の掘り起し。なぜ達成できなかったのか課題を洗い出し分析していくことが必要である。事業者数を増やす方向。	C	B	C	C	C	C	C	C	C	C	・目標を半分程度しか達成できなかった。 市場ニーズに適しているか、優位性が持てるか、判断を行う材料として、を分析。調査結果は、商品の改良や新商品開発に活用するためのデータとして提供した。 展示会等の出展支援として参加事業者に対する調査支援に取り組んだ。	C
③経営状況の分析に関すること	目標以上に経営状況の分析が行われた。経営分析、経営指導とも良いことだと思う。計画以上に分析することができた。財務診断ツールを活用した融資審査に期待します。経営状況分析に積極的に取り組む事業者が増加していて良い方向です。	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	・達成することができた。 日本政策金融公庫が推奨している財務診断ツールなどを活用し、管内の事業者21件の過去3年間の決算書から、収益性、生産性、安全性などについて業種別の経営指標と比較した。経営分析から課題を抽出、経営者に財務状況を知ってもらうことで経営上の様々な活用や判断に役立ててもらうことができた。	A
	課題解決に有効なDX推進に向けた取り組みに力が入れている。事業承継の希望者が少ない。幅広く必要性を問いつけ関心を持ってもらう。計画通り達成できた。管内の事業者の意識向上を目指し、事業計画の取り組みを行っている事業者さんの掘り起しを実施できれば良い。SNSを活用したセミナーは今後も積極的に実施してほしい。アンケート回答が多く事業承継支援に繋がっているのが良い。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	・達成することができた。 講習会ではSNSについて学ぶDXセミナーを開催。計画書策定に関しては、経営計画を策定することは、自社の強みや弱みの掘り起し、市場の動向などの外部環境を把握することで戦略を立てることができると、計画の重要性や必要性が事業者理解してもらうことができた。事業承継はマッチング支援および第三者承継等の掘り起しにより計画作成に繋げる。	A
⑤事業計画策定後の支援に関すること	定期的なフォローアップは大切であるがしっかり取り組まれている。持続化補助金などの活用指導は会員として勉強になる。計画以上に達成することができた。目まぐるしく変わる時代なので、それぞれの事業者さんがちゃんと事業に向き合っているように事業計画を策定できるようにしていきたい。事業計画策定後のフォローは大切なので引き続き支援をお願いします。事業者の支援に繋がっている。	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	・達成することができた。 策定した事業者には、定期的なフォローアップを行うことができた。計画書通り進行しているかの確認や軌道修正などを行った。持続化補助金などを活用した事業者は、補助事業の効果・成果を検証し期限内に実績報告書が提出できるように支援できた。	A
	販路開拓に繋がる支援であり事業者数を増やせるよう取り組まれると良い。自社出展する枠があるのかわからない。支援者の増強をはかる。経営発達支援事業の目標である飛騨高山ブランドや地域資源の磨き上げについて具体的にどう取り組まれたか知りたい。事業者間や産業（異業種）間が連携した経済の好循環を生み出す支援の具体的な取組について知りたい。新しい取組を開始することができたのは良いことでした。件数と具体的な結果が見えるとなおよい。このような取組がわからない事業者がいると思うので情報提供を拡大。イベント等への積極的な参加による調査、支援に期待します。新たな方向は大変である。 アピール強化。なぜ達成できなかったのか課題の洗い出し、分析していくことが必要である。今後も努力する。	C	B	C	C	C	C	C	C	C	C	・目標を半分程度しか達成できなかった。 自社ホームページ作成に併せてSNS発信の専門家による指導を受け情報発信の支援を行った。 飛騨の家具フェスティバルへの出展について、費用の補助および来場者アンケート分析支援を行った。 来年度は事業者が参加可能な各イベント等への出展前の段階から需要動向調査（アンケート）、フォローまで支援を行う。	C
⑦地域経済の活性化に資する取組み	地域の活性化イベントを各種取り組んでいる。商品券を利用する人が多く、今回も地域活性化のため行ってほしい。上手く商品券活用、販売ができた。商品券事業やキャッシュバックキャンペーンなど地域経済の活性化に取り組む姿勢は評価できる。地域イベントへの積極的な関わりについて継続されたい。プレミアム商品券以外にできることも検討してみたい。今後も市や県の支援補助金を活用した事業に期待します。地域商工会会員にとっての事業としてよかった。 効果の分析・報告はあると良い。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	発達支援計画にはないが、販売促進事業としてプレミアム付き高山南商工会商品券を総額500万円分販売し、夏季の売上増加をはかった。また、年末年始における誘客と地元消費拡大を狙い、総額30万円のキャッシュバックキャンペーンを実施した。観光振興事業として、地域活性化イベントに協賛・協力した。今後も市や県の支援補助金を活用した事業を積極的に実施していきたい。	A

評価基準：A 達成することができた。B おおむね達成することができた。C 半分程度しか達成することができなかった。D ほとんど達成することができなかった。E 未実施